



に付けた付札と思われる。(5)は将棋の駒である。本県で歩以外の駒が出土した初例となる。他の二点は墨痕が残っているが、文字か絵か判断しない。

(伊藤邦弘)

『下野国府跡Ⅶ―木簡・漆紙文書調査報告―』の刊行

下野国府跡の発掘調査は、栃木県教育委員会によって、一九七六年より実施されているが、現在までに五〇〇〇点をこえる木簡の出土をみている。その概要は同教育委員会『下野国府跡Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ等で報告され、本誌にも年毎の紹介がされているがこのたび木簡・漆紙文書についての正報告書が刊行された。

一九八四年三月までに出土した分を対象として、木簡約四二〇〇点余と漆紙文書・墨書土器について、写真図版・釈文および解説を掲載した充実した報告書となっている。

栃木県教育委員会発行 一九八七年三月刊

図版二二二枚、本文A五判 一七九頁、頒価 三五〇〇円

送料七〇〇円

申し込み先 〒320 宇都宮市桜四二二二

（財）栃木県文化振興事業団